

目標 2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち

次に「目標2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち」です。

愛知県は、観光県あいちの飛躍的發展を目指し、国内外から多くの集客を図るため、平成二十九年度から平成三十一年度において「愛知県大型観光キャンペーン」を実施します。

本町には、県営名古屋空港をはじめとした、JAXAやMRJ最終組立工場などの、多くの航空機関連施設があります。今秋には「あいち航空ミュージアム」もオープンします。これを契機として、これらの施設と本町の神明公園、航空館bionを併せた観光資源化に向けた取組を進めてまいります。

具体的には、神明公園展望台やエアフロントオアシス、ターミナルビル展望デッキなどの航空機撮影スポットツアーや、航空館bionの実機展示、MRJ最終組立工場見学施設などを組み合わせたミュージアムツアーなどの観光ルート化に向け、愛知県や関係機関と連携を図ってまいります。

中小企業の振興につつましては、昨年度、信用保証料補助の増額を行いま



した。引き続き、小規模企業等振興資金原資の金融機関への預託や信用保証料補助を行うてまいります。また、商工会や金融機関等の関係機関と連携し、起業や資金調達の相談、セミナーの開催などの創業支援にも取り組んでまいります。

農業につつましては、伊勢山や下屋敷地域における水路やポンプ桝の浚渫工事、富士地内と神戸地内の鋼製転倒ゲートの補修工事など、引き続き、農業施設の適正な維持管理に努めてまいります。

目標 3 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち

「目標3 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち」です。

現在、本町では、名古屋市営バスの路線延伸に向けた社会実験を行っています。今回の実験をぜひ本格運行につなげてまいりたいと考えています。町民の皆様には、ぜひご利用をお願いいたします。

また、今回の社会実験に併せて、空港利用者や周辺地域の通勤・通学などの利用者の需要動向を把握するためのアンケート調査を実施します。本調査をもとに、公共交通の利便性をより高めていくための検討を進めてまいります。

防災については、ソフト・ハード両面からの取組を進めてまいります。

ソフト面については、自主防災組織の防災力向上と町民の皆様一人ひとりの防災意識の高揚を図るため、新たに防災キャンプを実施します。具体的には、学校体育館を避難所として、災害時の避難生活を疑似体験するとともに、生活用品などの身近なものを使用した応急手当や炊き出しなどを実施してま

います。また、災害現場において中核的な活動ができる消防団幹部の育成を図るため、愛知県消防学校へ五人の団員を派遣し、訓練を行ってまいります。

ハード面については、防災行政無線の設備更新に向けた基本構想を策定してまいります。また、避難施設に設置してある誘導案内看板を標準化図記号とするとともに、夜間でもスムーズに避難できるよう、高度蓄光素材への切り替えを行ってまいります。

なお、平成二十九年度は、本町消防団が西春日井地区二市一町を代表して愛知県消防操法大会に出場します。入賞を目指し、昨年十月から訓練を行っています。応援をよろしく願います。

防犯につつましては、防犯カメラの設置を平成二十六年から平成二十八年度までの三年計画で、役場を始めとする主要公共施設九か所、計十八台の設置を行ってまいりました。しかしながら、昨今の犯罪事情は凶悪化かつ多様化する傾向にあることから、新たに平成二十九年度から平成三十一年度までの防犯カメラ設置計画を定め、本町の犯罪対策の強化に努めてまいります。平成二十九年度については、富士社、八剣神社、新築西部児童遊園の三か所、計六台の防犯カメラを新たに設置してまいります。